

JENESYS 2.0

日本教員訪韓研修団 第1団

訪問日程 平成26年11月18日(火)～11月27日(木)

1. プログラム概要

JENESYS2.0の一環として、日本の若手教員約20名が訪韓し、11月18日から11月27日までの9泊10日の日程で研修を行いました(団長:遠藤大輔 沖縄県那覇市立神原中学校教諭)。一行は滞在中、学校訪問やホームステイ、地方での文化体験等を通して、韓国の文化や社会についての知識を深めることができ、これらを通じ日韓の相互理解と信頼関係の増進につながる研修となりました。(主催団体:公益財団法人 日韓文化交流基金、大韓民国教育部国立国際教育院)

2. 日程

11月17日(月)

研修前オリエンテーション

18日(火)

金浦空港より入国、韓国国立中央博物館見学、セウォル号犠牲者合同焼香所訪問

19日(水)

ソウル市内視察(景福宮・宗廟など)、韓国国立国際教育院訪問、大学路見学

20日(木)

京畿道高陽市上炭初等学校、京畿道富川市深遠高等学校訪問

21日(金)

ソウル市天旺中学校訪問、全羅南道木浦市へ移動、ホームステイ対面式

22日(土)

終日ホームステイ

23日(日)

ホームステイから再集合、木浦共生園訪問、儒達山一帯を車窓から見学(旧日本領事館経由)、文化体験(プク(太鼓)叩き)、務安生態干潟博物館見学

24日(月)

木浦大学校訪問(韓国伝統料理作り体験、木浦大学生との交流、特別講演、キャンパスツアーなど)

25日(火)

慶尚北道慶州市へ移動、新羅文化遺跡視察(韓国国立慶州博物館・仏国寺・瞻星台)

26日(水)

釜山広域市へ移動、文化体験(韓服試着)と釜山近代歴史館見学、感想報告会

27日(木)

金海空港より出国

3. 写真

| | |
|--|---|
|  |  |
| <p>(日本語) 11月18日 セウォル号合同焼香所訪問 (ソウル)</p> | <p>(日本語) 11月19日 韓国国立国際教育院訪問 (ソウル)</p> |
| <p>(母国語) 11월 18일 세월호 합동 분향소 방문 (서울)</p> | <p>(母国語) 11월 19일 한국 국립국제교육원 방문 (서울)</p> |
|  |  |
| <p>(日本語) 11月19日 宗廟見学 (ソウル)</p> | <p>(日本語) 11月19日 景福宮見学 (ソウル)</p> |
| <p>(母国語) 11월 19일 종묘 견학 (서울)</p> | <p>(母国語) 11월 19일 경복궁 견학 (서울)</p> |

| | |
|--|---|
|  |  |
| <p>(日本語) 11月20日 学校訪問 上炭(サンタン)初等学校訪問(京畿道高陽市)</p> | <p>(日本語) 11月20日 学校訪問 深遠(シムウォン)高等学校訪問(京畿道富川市)</p> |
| <p>(母国語) 11월 20일 학교 방문 상탄초등학교 방문(경기도 고양시)</p> | <p>(母国語) 11월 20일 학교 방문 심원고등학교 방문(경기도 부천시)</p> |
|  |  |
| <p>(日本語) 11月21日 学校訪問 天旺(チョンワン)中学校訪問(ソウル)</p> | <p>(日本語) 11月23日 ホストファミリーとの別れ(全羅南道木浦大学)</p> |
| <p>(母国語) 11월 21일 학교 방문 천왕중학교(서울)</p> | <p>(母国語) 11월 23일 호스트 패밀리와 이별(전라남도 목포대학교)</p> |

| | |
|--|---|
|  |  |
| <p>(日本語) 11月23日 木浦共生園訪問 (全羅南道木浦市)</p> | <p>(日本語) 11月23日 旧木浦日本領事館前で (全羅南道木浦市)</p> |
| <p>(母国語) 11월 23일 목포공생원 방문 (전라남도 목포시)</p> | <p>(母国語) 11월 23일 구 주목포일본영사관 앞에서 (전라남도 목포시)</p> |
|  |  |
| <p>(日本語) 11月23日 buk (韓国太鼓) 体験 (全羅南道務安郡)</p> | <p>(日本語) 11月24日 韓国料理作り体験 (全羅南道木浦大学)</p> |
| <p>(母国語) 11월 23일 buk 체험 (전라남도 무안군)</p> | <p>(母国語) 11월 24일 한국요리 만들기 체험 (전라남도 목포대학교)</p> |

| | |
|--|---|
|  |  |
| <p>(日本語) 11月24日 木浦大学歓迎式 (全羅南道木浦大学)</p> | <p>(日本語) 11月24日 木浦大学学生との討論 (全羅南道木浦大学)</p> |
| <p>(母国語) 11월 24일 목포대학교 환영식 (전라남도 목포대학교)</p> | <p>(母国語) 11월 24일 목포대학교 학생과의 토론 (전라남도 목포대학교)</p> |
|  |  |
| <p>(日本語) 11月25日 仏国寺見学 (慶尚北道慶州市)</p> | <p>(日本語) 11月26日 韓服試着体験 (釜山)</p> |
| <p>(母国語) 11월 25일 불국사 견학 (경상북도 경주시)</p> | <p>(母国語) 11월 26일 한복 시착 체험 (부산)</p> |

4. 参加者の感想

◆印象的だったこと

○学校訪問に関して

- ・各学校の校長先生は日本を訪れた経験があり、日本の良いところを教育に取り入れている点に熱意を感じた。
- ・高校生の学習時間、大学生の就職の厳しさなど、日本との違いを感じた。
- ・韓国の教育現場の現状を知ること、日本のこれからの教育の在り方を改めて考えていきたいと思った。
- ・IT を上手に取り入れている点で、日韓の学生に差がついていると感じた。現場で働くものとしては、未来を担う子供たちにもっとお金をかけてほしいと感じた。
- ・講義で教授という立場の人が日本に注文を付けたりするのを見ると、韓国人の根底には反日感情があるのだと感じた。その原因が植民地化したことにあるのならば、日本人としてかつて日本がどんなことをしてきたのか正確に知りたいと強く感じた。

○韓国の学生、教育について

- ・韓国の学生は勤勉で日本の学生が見習うべきことが多くあった。
- ・韓国の子供たちは息苦しそう、親は大変そう、教師は辛そうだと感じた。

○韓国、韓国人について

- ・韓国人の心の温かさを肌で感じる事ができた。
- ・みな自分たちを好意的に受けとめ、優しく接してくれた。
- ・日本の事をよく知っていて関心が高いことを知った。同時に自分は韓国について無知であることを思い知らされた。
- ・歴史や文化に誇りをもっている。

○その他

- ・日本人は韓国を知らなさすぎるので、もっと韓国について知り、お互いに意見を交わす必要があると感じた。
- ・日本の子供たちが韓国に興味をもち、日韓関係に良い影響を与える人たちになってほしいと思った。
- ・事前研修での説明が分かりやすく韓国での研修に役だった。
- ・国レベルでは難しい関係でも、個人レベルでは互いを理解しようとしていて非常に好意的であることを身を持って体験することができた。
- ・自分の事を知ってもらうためには、まず相手の事を知ることが大切。自分にはそれが欠けていることを痛感した。
- ・木浦共生院の訪問では、異国で子供たちのために尽くした田内さんの生き方に触れ、自分も教員として子供たちのために頑張ろうと改めて感じた。

◆自国の人に伝えたいこと

- ・韓国の良さを積極的に伝えていきたい。

(プログラム概要報告フォーマット)

- ・関わった人がみな優しく接してくれたこと、相手を理解するためには自分で実際にその国に触れてみる大切と伝えたい。
- ・マスコミ等の情報だけで韓国を良く思っていない人にこそ、この研修に参加してもらいたい。